

区民アンケートの実施結果について

1 調査目的

区民及び台東区来訪者を対象として、現行長期総合計画の各施策に対する重要度や満足度、台東区の魅力などについて調査し、新たな基本構想等の策定に活用する。

2 実施方法

(1) 調査期間 平成29年7月3日(月)～7月28日(金)

(2) 調査対象 区民アンケート 2,000人

(区内在住の満18歳以上の男女個人、無作為抽出)

来訪者アンケート 300人

(webモニター登録者のうち、月1回以上台東区を訪れる人)

(3) 調査方法 区民アンケート 郵送配布・郵送回収

来訪者アンケート webモニター調査

3 回収結果

有効回収数 区民アンケート 648件 (回収率：32.4%)

来訪者アンケート 300件 (回収率：100%)

4 調査内容

区民アンケート、来訪者アンケートそれぞれで下記項目を調査

- ・産業振興に関する取り組み
- ・文化振興に関する取り組み
- ・災害対策に関する取り組み
- ・生涯学習に関する取り組み
- ・福祉に関する取り組み
- ・教育に関する取り組み
- ・行政経営に関する取り組み
- ・将来の居留意向※2について
- ・台東区の魅力について※3
- ・観光振興に関する取り組み
- ・まちづくりに関する取り組み
- ・環境対策に関する取り組み
- ・健康づくりに関する取り組み
- ・子育てに関する取り組み
- ・パートナーシップに関する取り組み
- ・定住意向※1について
- ・台東区への来訪頻度について

※1 区民アンケートのみ

※2 来訪者アンケートのみ

※3 区民アンケートでは自由回答のみ

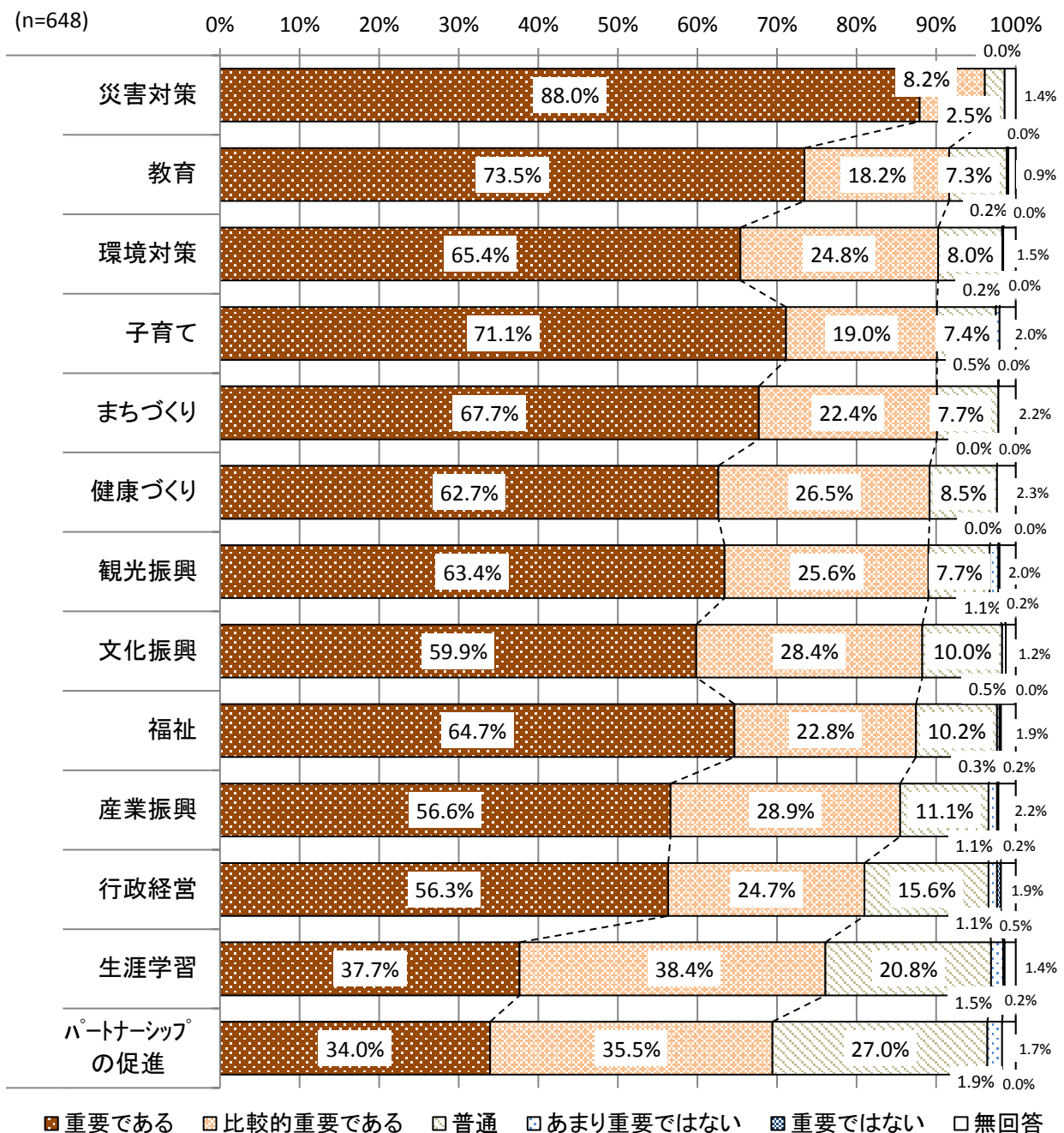
5 区民アンケート調査結果概要

(1) 重要度と満足度の項目間比較

区民アンケートにおける各項目の重要度を比較すると、「重要である」と「比較的重要である」を合わせた《重要である》は、災害対策に関する取り組み（96.2%）、教育に関する取り組み（91.7%）、環境対策に関する取り組み（90.2%）などが特に高くなっています。

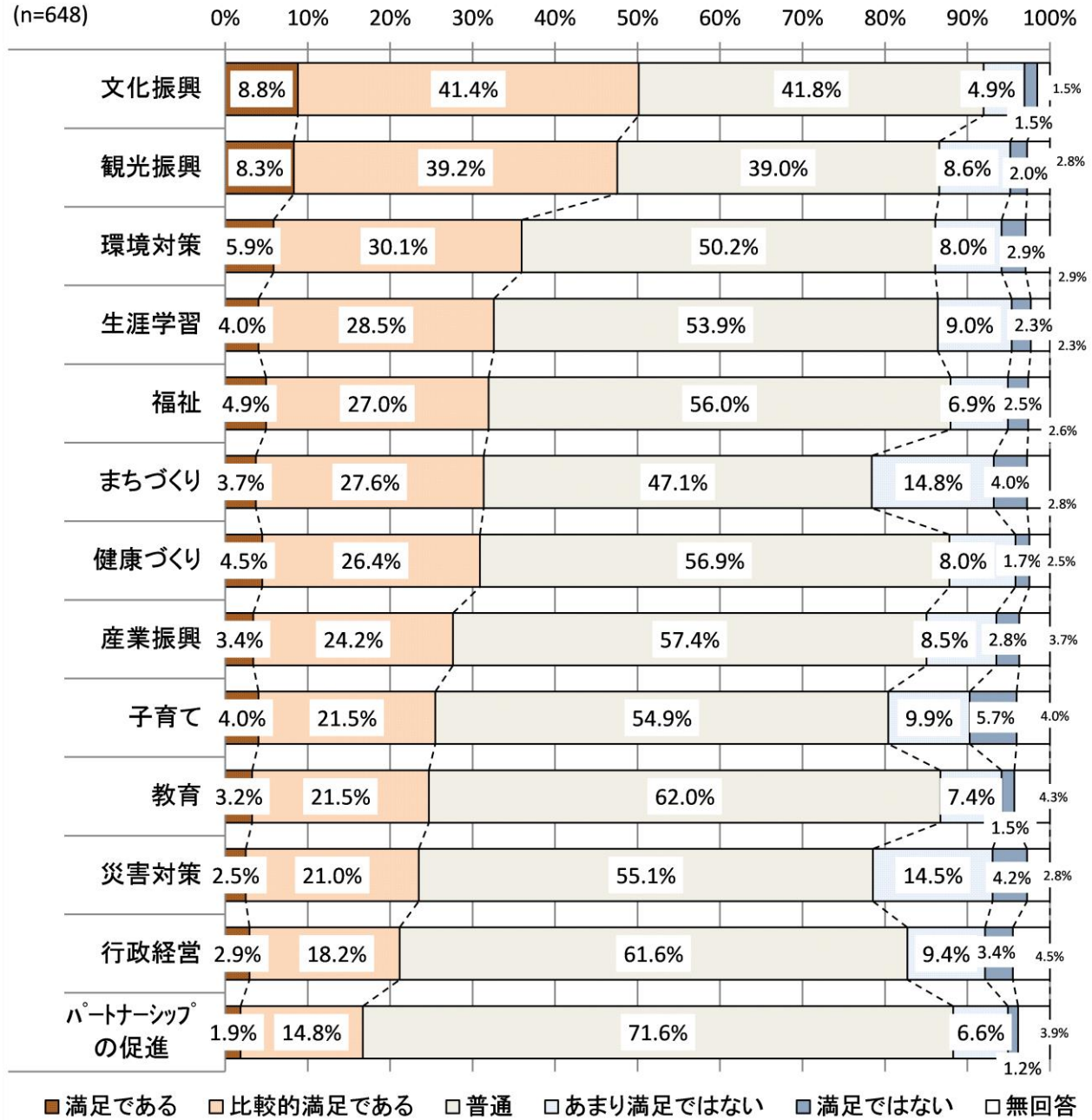
また、各項目の満足度を比較すると、「満足である」と「比較的満足である」を合わせた《満足である》は、文化振興に関する取り組み（50.2%）、観光振興に関する取り組み（47.5%）、環境対策に関する取り組み（36.0%）などが高くなっています。

【重要度の項目間比較】



【満足度の項目間比較】

(n=648)



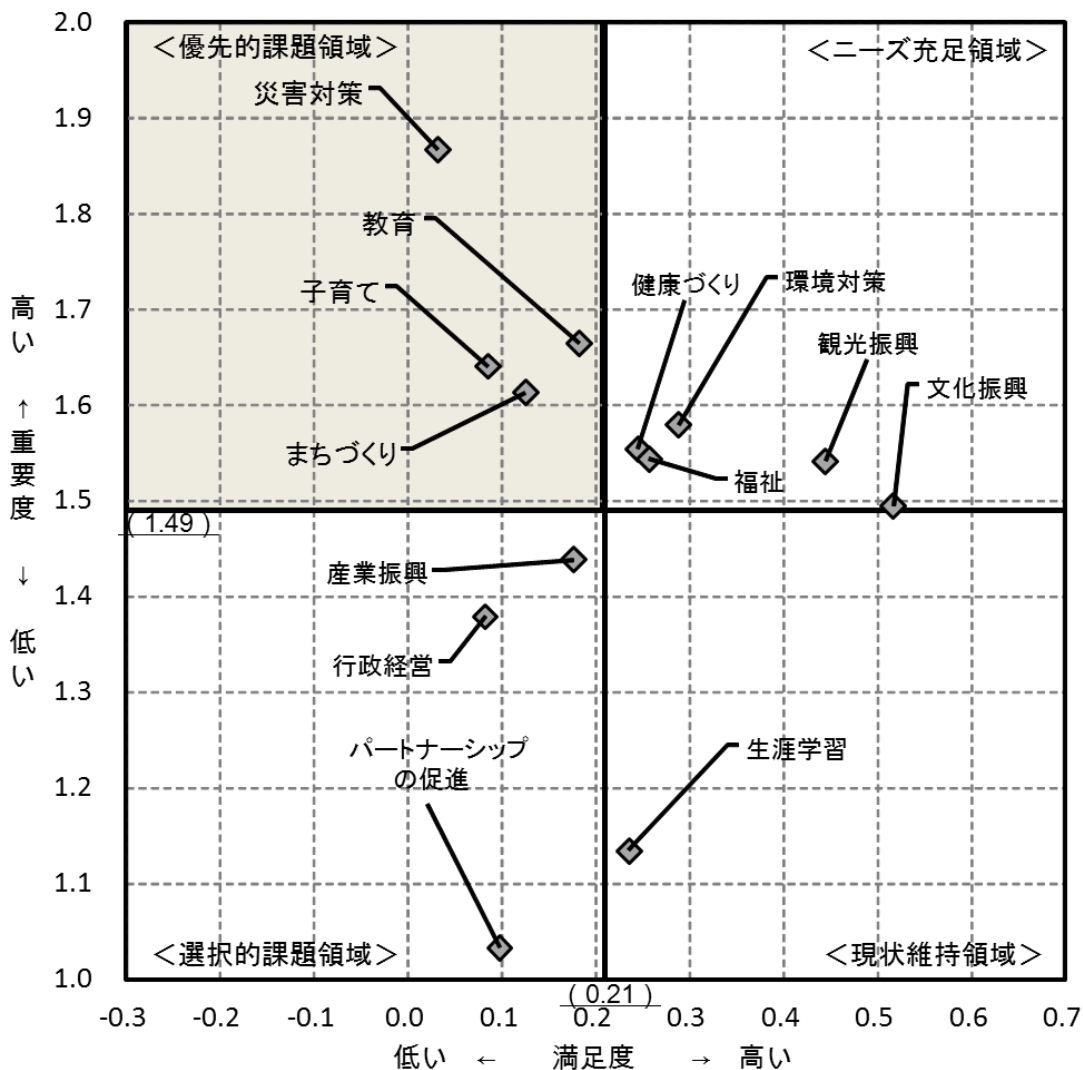
(2) 重要度と満足度の相関

区民アンケートにおける各分野の比較を簡単にするため、縦軸を重要度、横軸を満足度とした散布図を下の表に示しています。項目間の相対的な評価を行うために、「重要である」「満足である」を2、「比較的重要である」「比較的満足である」を1、「普通」を0、「あまり重要ではない」「あまり満足ではない」を-1、「重要ではない」「満足ではない」を-2としたうえで、重要度と満足度の平均値（それぞれ1.49、0.21）を基準に4つの領域に分けて分析を行いました。

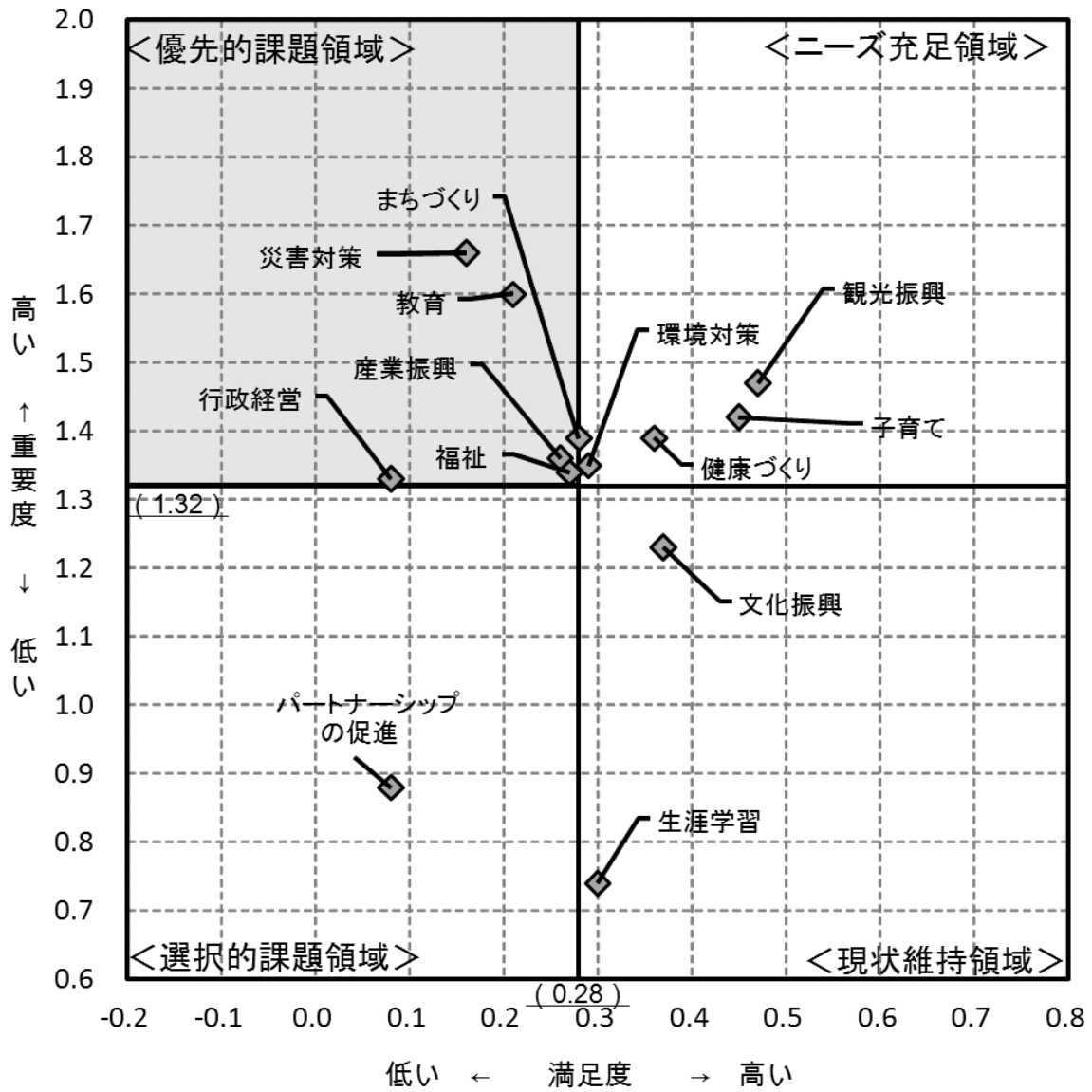
優先的課題領域は、重要度が高いが満足度は低いため、優先的に取り組む必要性が高い領域といえます。同様に、満足度が高く重要度も高い領域をニーズ充足領域、満足度が低く重要度も低い領域を選択的課題領域、満足度が高く重要度が低い領域を現状維持領域としています。

優先的課題領域には、災害対策に関する取り組み、教育に関する取り組み、子育てに関する取り組み、まちづくりに関する取り組みがあります。

【重要度と満足度の散布図】



(参考：平成24年度区民満足度調査での重要度と満足度の散布図)



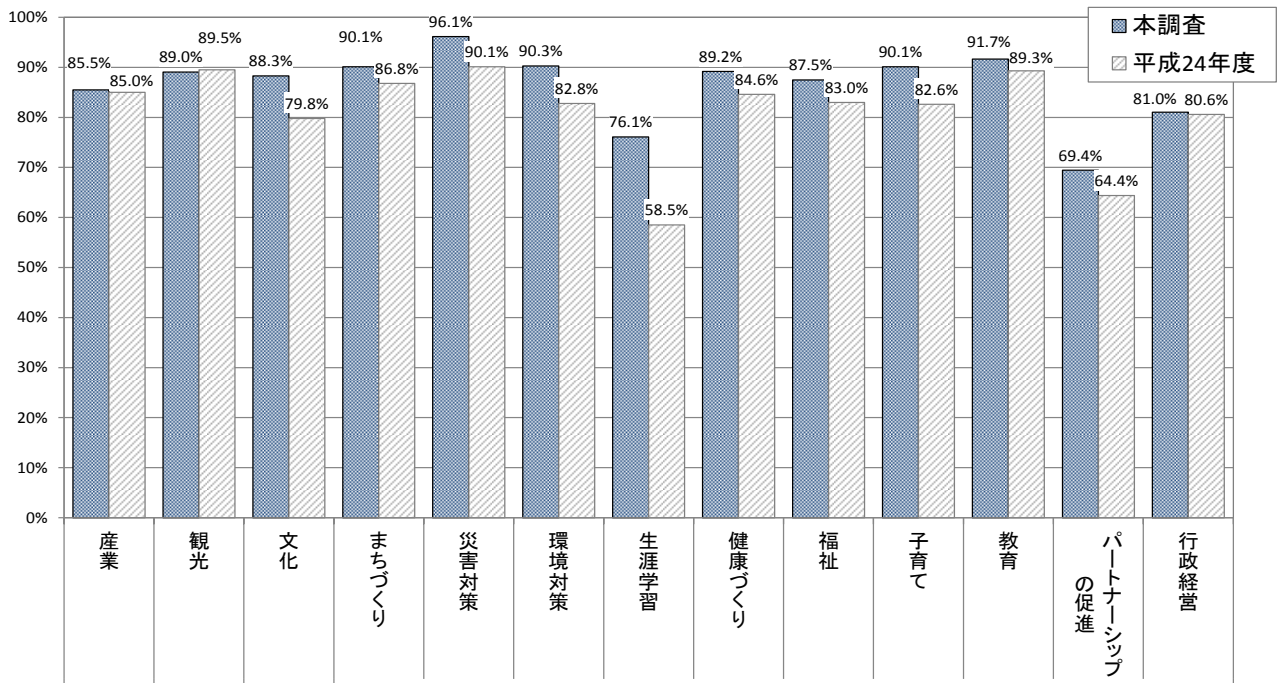
(3) 重要度と満足度の区民満足度調査（平成24年度）との比較

今回の調査は、平成24年度に実施した「台東区 区民満足度調査」（以下、「前回調査」という）と同じ項目を尋ねています。そのため、区民アンケートについては前回調査からの変化を把握することが可能です。

前回調査で得られた重要度と今回の重要度を比較したところ、今回調査で重要度が増加した項目は、観光振興に関する取り組みを除く12項目となりました。

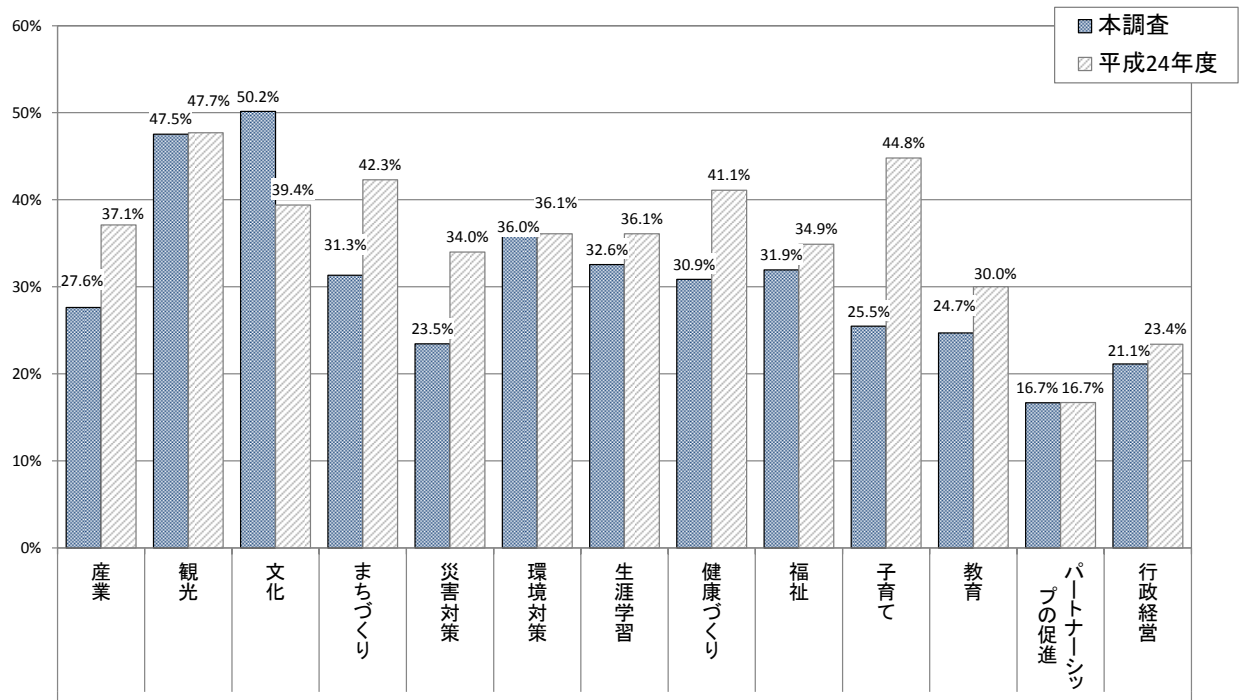
また、重要度と同様に満足度についても前回調査で得られた結果と比較したところ、今回調査で満足度が増加した項目は、文化振興に関する取り組み（39.4%→50.2%）の1項目のみでした。

【重要度の前回調査との差】



注) 「重要である」、「比較的重要である」を合わせた割合

【満足度の前回調査との差】



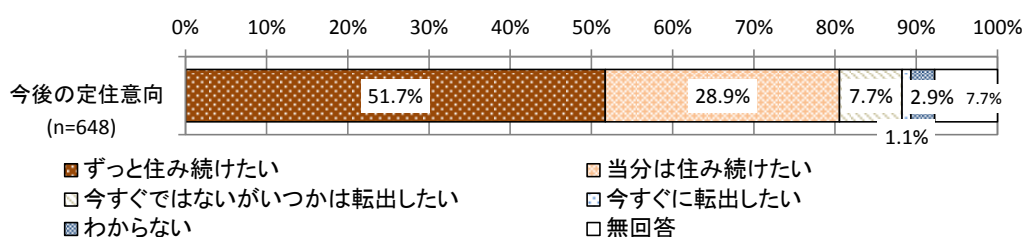
注) 「満足である」、「比較的満足である」を合わせた割合

(4) 定住意向について

定住意向については、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》は、80.6%となっています。《住み続けたい》と回答した方の理由としては、「交通の便が良い」の割合が最も高く68.0%となっており、次いで、「家族や友人など知り合いが近くに住んでいる」が30.1%、「勤務先・通学先が近い」が27.6%となっています。

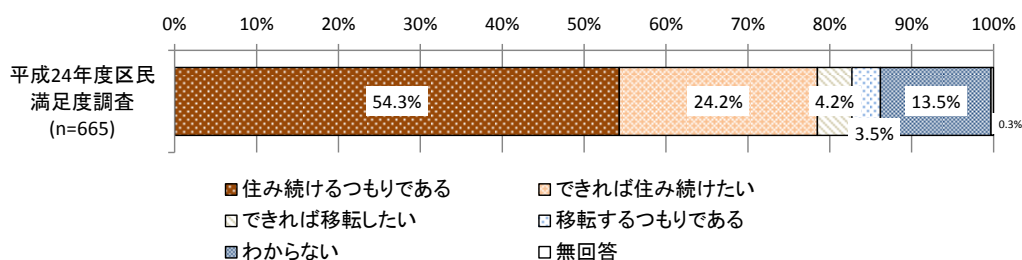
一方、「今すぐではないがいつかは転出したい」、「今すぐに転出したい」を合わせた《転出したい》と回答した方の理由をみると、「騒音のない静かな環境ではない」が33.3%で最も高く、次いで、「自然豊かな環境ではない」が29.8%、「犯罪への不安がある」が28.1%となっています。

【定住意向】（単数回答）

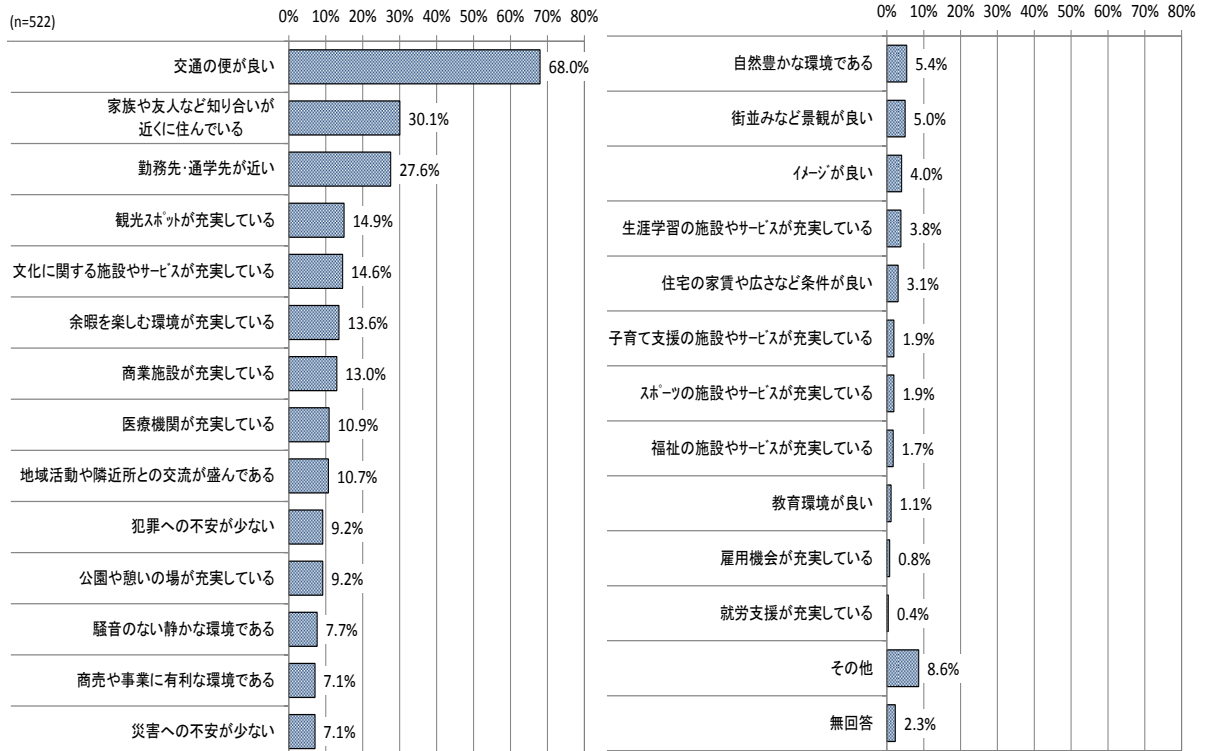


(参考：前回調査での定住意向の結果)

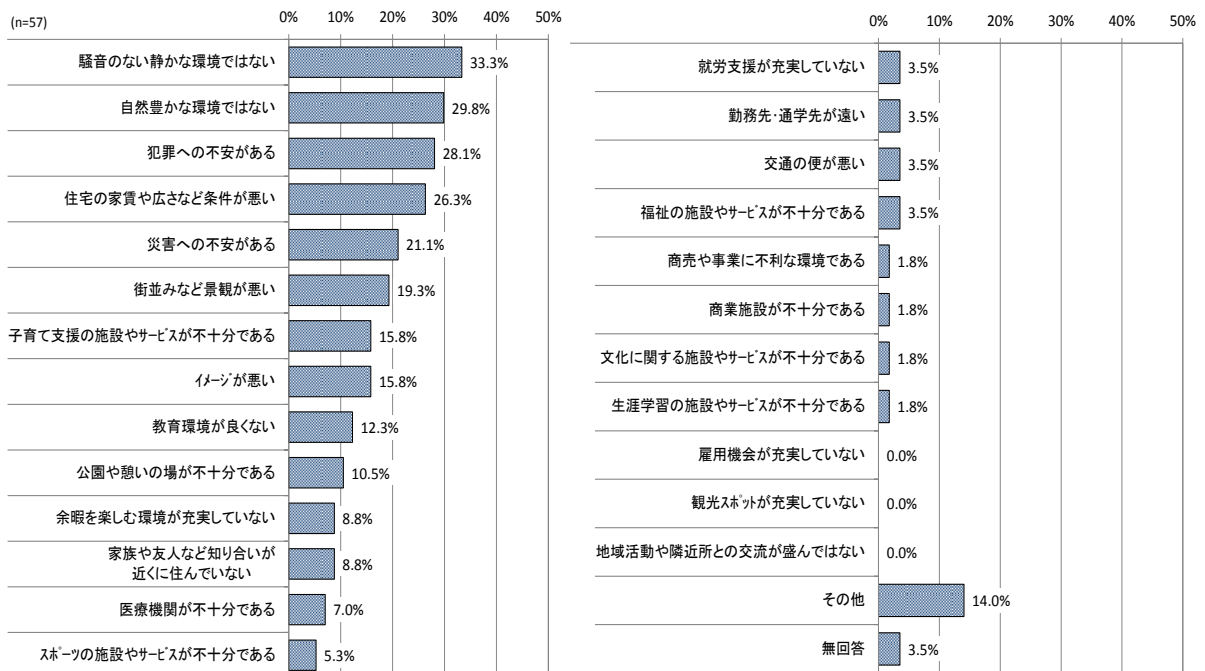
前回調査における定住意向については、「住み続けるつもりである」「できれば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》は、78.5%であり、単純に比較はできませんが、本調査は前回調査よりも《住み続けたい》割合が2.1%高くなっています。



【住み続けたい理由】（複数回答（3項目まで））



【転出したい理由】（複数回答（3項目まで））



(5) 台東区の魅力について

区民アンケートの最後に、「20年後も残しておきたい台東区の良いところ」を自由記入形式で求めたところ、442人(68.2%)の方からの記入がありました。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は657件となっています。

回答が最も多かったものは「文化に関する取り組み」に係る事項で294件となっており、次いで「まちづくりに関する取り組み」に係る事項が206件となっています。

【20年後も残しておきたい台東区の良いところとして挙げられた主な意見】

- もの作りの街、人情のある商店街
- 観光資源が豊富なところ、イベントやお祭りなど地域のふれあいが多いところ
- 下町情緒豊かな街並みや人々
- 上野駅の利便性
- 高齢者が町で笑顔いっぱい、活気のあるところ